

しやつきー

- 赤い羽根共同募金
- 厚岸町立特別養護老人ホーム心和園だより
- 在宅老人デイサービスセンターだより
- あっけしの輪～井出真由美さん



梅香地区で始めた” まちなか農園(仮称：社協めぐり)”
8月下旬に地域のボランティアと子夢希児童館の子ども達で野菜の種をまきました。今年は秋大根中心ですが、今後はいろいろな野菜に挑戦します。現在、来年度に向けて協力者を募集しています。



じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



運動期間 10月1日～12月31日まで

支えあうココロ、
未来へ。

10月1日から共同募金運動が始まります。
みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



Art by 雨音もも © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

募金方法

■個別募金

自治会を通じて、世帯ごとにおこなう募金

■法人募金

訪問集金を通じて、企業・団体・商店などがおこなう募金

■街頭募金

人の集まる場所、イベント会場等街頭で行なう募金

■その他募金

寄付金付きピンバッジ、寄付金付き自動販売機

■今年度期待額

1,725,000円

・赤い羽根共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」を合言葉に、地域を循環する募金として、みなさまにご協力をお願いしています。

・厚岸町でご協力いただいた募金は、地域の福祉団体やボランティアの活動、その他様々な形で【厚岸町の地域福祉】を支えています。



●令和5年度「募金のつかいみち」

ありがとう！



- ・たすけあいチーム助成事業（社会福祉協議会）
- ・厚岸町社会福祉大会（社会福祉協議会）
- ・社協だより「しゃっきー」発行（社会福祉協議会）
- ・親子の交流事業（あそぼーの）
- ・レスパイト事業（障がい者・見を持つ親の会「なないろ」）
- ・会員研修交流会（老人クラブ連合会）
- ・高齢者生きがい事業（老人クラブ連合会）
- ・会員交流生きがい事業（身体障害者福祉協会厚岸町分会）
- ・医療講演会（難病連厚岸・浜中支部）
- ・厚岸町障害者（児）ふれあいフェスティバル「こう福祉21」（「こう福祉21」実行委員会）
- ・親子でるるる（地域子ども会育成連絡協議会）
- ・社会研修事業（工房るうぷ）

～募金できる場所 ってどこにあるの？～

■赤い羽根の募金箱は町内のたくさんの施設、企業、商店に、募金箱設置のご協力をいただいています。いつものお出かけやお買い物の際に、レジや受付、カウンターなど、気にして見てみると意外と身近に置いてありますので、ご協力をお願いします。



令和5年度赤い羽根寄付金付きピンバッジのご紹介！



北海道限定 エゾナキウサギ



Art by いらずとがり © CFM

初音ミク

■令和5年度の寄付金付きバッジは現在2種類取り扱っています。11月からは雪ミクデザインも追加されます！500円の募金に対し、ひとつプレゼントになります。

毎年度デザインが変わるのでコレクションしてみても？★気になる方は共同募金委員会までお問合せください。

ご存じですか？

『赤い羽根自動販売機』のご紹介

心があたたかくなる、
自動販売機をご存知ですか？

赤い羽根自動販売機

売上げの一部が赤い羽根共同募金へ寄付されます。



赤い羽根自動販売機を設置すると、みんながうれしい！

設置していただく企業・団体の皆様のメリット

- ①【収入】-飲料メーカーから販売手数料が毎月支払われます。
※各飲料メーカーにより変動します。
- ②【社会貢献】-費用をかけることで地域社会へ貢献できますので、設置していただく皆様（イメージアップ）に！
- ③【売上】-募金の寄附を寄せてくれる方が数多く購入してくれば、売上アップが期待できます。

購入者のメリット

- ①赤い羽根自動販売機で購入するだけで、気軽に募金することができます。
- ②たった1本のジュースでも地域の福祉に貢献していることになります。



地域社会 | 売上の一部が赤い羽根共同募金に寄付されます。募金は地域を良くするために使われ、福祉を元気にしてくれます。

社会貢献、地域貢献

赤い羽根共同募金

「赤い羽根自動販売機」のお問い合わせは、北海道共同募金会またはお近くの共同募金会まで

社会福祉法人 北海道共同募金会
〒060-0002 北海道札幌市中央区南2条西7丁目2番2.7 4F
電話 011-231-8000

赤い羽根自動販売機を
設置しませんか？

「赤い羽根自動販売機」は飲料の購入を通じて寄付ができる仕組みです。
この仕組みは各飲料メーカーとの連携によって行われ、現在道内では約200台が設置されています。

協力内容 協力メーカーは下記からお選びいただけます。

協力業者・団体		
北海道コカ・コーラボトリング	サントリービバレッジサービス	伊藤園
ダイドードリンコ	キリンビバレッジ	ポッカサッポロフード&ビバレッジ
(NPO)ハートフル福祉基金		
寄付額		
売上の5%程度		
※業者によって設置できる地域や寄付額の割合等異なります。		

設置にあたって 設置・置き換えは、基本無料です。

- (1)自動販売機の維持・管理も含め、故障・破損等についても協力業者・団体が責任を持ちます。
また、アフターフォロー（商品の補充・管理、空き缶の回収等）においても、協力業者・団体が行いますので安心です。
- (2)電気代（月々2,000円～3,000円程度）のみ設置先の負担となります。
- (3)設置の可否については、事前に設置先（ロケーション）の確認が必要となります。

設置をお考えの方は、まず設置する地域の市町村共同募金委員会または北海道共同募金会へお問い合わせください。

設置までの流れ

希望の販売業者・団体を決める → 市町村共同募金委員会または北海道共同募金会へお申込み → 販売業者から設置者様へご連絡 → 自販機の設置

共同募金は、身近なところで役立てられています。



赤い羽根自動販売機でジュースを買って飲むのも、
立派な社会貢献のひとつ。ぜひ、設置をご検討ください。

■売上の一部が赤い羽根共同募金へ寄付される「赤い羽根自動販売機」というものがあります。1本の飲料を購入するだけでも地域の福祉に貢献することができます。町内では「パンとケーキの店マエダ」、「鈴木旅館」、「社会福祉センター」、計3台が設置されています。町内の施設・企業様、設置の検討をよろしくお願いします。



厚岸町共同募金委員会
TEL52-7752 FAX52-6044

第6回 ケアマネジャーのいるところ ～ 指定居宅介護支援事業所～

自宅で安全に過ごせる環境づくり～住宅改修について

■ 介護保険を利用した住環境の整備

高齢になると、筋力やバランス能力、身体の柔軟性が低下しやすく、動作の安定や転倒防止のために自宅内の環境を整える必要があります。そのような場合に介護保険を利用し、住環境を整備・改修することができます。

■ 住宅改修の詳細について

(1)対象者：介護認定を受けている方
(要支援1,2 要介護1～5)

(2)改修の内容例

- ・手すりの取り付け ・段差や傾斜の解消
- ・滑りにくい床材・移動しやすい床材への変更
- ・開き戸から引き戸等への扉の取換、扉の撤去
- ・和式から洋式便座等への便器の取換

(3)改修費用：住宅改修に対し、20万円を上限として費用の7～9割が住宅改修費として支給されます。

(4)手続き：事前に申請等が必要ですので、担当ケアマネジャー等にご相談ください。

(5)その他：担当ケアマネジャーがいない、又は介護認定を受けておらず、住宅改修を希望される方は、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等にご相談ください。

◆問合せ先◆ ☎ 0153-53-4637
指定居宅介護支援事業所

第6回

訪問介護のまめまめ知識



第6回は、誤嚥性肺炎についてです。主に、誤嚥（ごえん：食べ物や唾液が気道に入ること）がきっかけになって、主に口の中の細菌が肺に入り込んで起こる肺炎の事を言います。他者から感染することはありません。
食事中や、睡眠中でも唾液が肺に流れ込んで起きることがあります。



★どうしてお年寄りに多いのか？

- ・脳梗塞などで、麻痺のある方は嚥下（飲み込み）機能の低下
- ・異物が気道に入った時に、咳で排除する反射能力の低下

★予防するためには？

- ・日頃の口腔ケアをする（口の中の細菌を減らす）
- ・よく噛んでゆっくり食べる
- ・きちんと座り、よそ見をしないで食べる
- ・食後すぐに横にならない
- ・話しながら食事をしない
- ・食べられない時は無理をしないように注意する
- ・あんかけなどトロミのついた食事を取り入れる



NEWS

&

TOPICS

★社協の行催事のほか、町内福祉団体の話題などをまとめてお伝えします。

■交通安全のつどい

厚岸町老人クラブ連合会

厚岸町老人クラブ連合会では、9月4日に交通事故のない安心・安全の町づくりのために厚岸警察署の協力もと交通安全のつどいが開催され、20名の会員の方が参加されました。

厚岸町老人クラブ会員や町民の皆様より交通事故撲滅宣言の署名を集め、渡部雅彦警察署長に手渡しました。また、「交通事故に遭わないために」交通安全に関する講話も行われ、一人ひとりが交通事故防止の意識の再確認となる貴重な時間となりました。



眞田副会長から渡部署長へ署名簿を手渡す

■釧路地区老人クラブ連合会パークゴルフ大会

厚岸町老人クラブ連合会



青空のもとナイスショット！

厚岸町老人クラブ連合会では、9月7日に標茶町で3年ぶりに開催された釧路地区老人クラブパークゴルフ大会に参加しました。7月末に町内で行われたシルバーフェスティバル杯にも参加した多くの方が今大会に参加され、白熱した戦いを繰り広げました。前日の雨の影響でコースが少し濡れており苦戦されていましたが、厚岸町の参加者は優勝（柁澤康博さん）・準優勝（菅原眞三さん）など好成績をおさめました。

■釧路地区身体障害者福祉協会スポーツ交流会

身体障害者福祉協会厚岸町分会

釧路地区身体障害者福祉協会主催で、8月25日に釧路市にてスポーツ交流会が3年ぶりに開催され、厚岸町からも会員7名が参加しました。久しぶりにほか地区の会員の皆様と楽しくお話ししたり、一緒にチームを組んでボッチャを楽しみました。豪華な景品をかけた抽選ゲームや、昼食時も、ほか市町村からの参加者とも交流しながら会食することができて楽しい一日となりました。



どのチームも笑顔でボッチャを楽しむ

<お問い合わせ> 厚岸町社会福祉協議会 Tel 52-7752

厚岸町立特別養護老人ホーム心和園だより

令和5年度敬老記念品授与式

9月18日は敬老の日、心和園では9月15日に敬老記念品授与式を開催し、お祝いをしました。

新型コロナウイルスの感染者が町内でも確認されている状態であるため、昨年同様、今年度もご家族や来賓の方の来園はご遠慮いただき、規模を縮小しての開催としました。



今年度の厚岸町からの敬老祝金対象者の方は米寿（満88歳）2名、仙寿（満100歳）2名の計4名の方々です。心和園施設長より敬老祝金を贈呈し、記念撮影をしました。

その他の皆様にも敬老のお祝いとして、ささやかながら祝品をお贈りしました。

選択食「ひんやりデザート」

8月10日に第2フロア、8月14日に第1フロア、8月15日にユニット、心和園のそれぞれのフロアで『ひんやりデザート』をご用意しました。

今回も利用者の皆様にお好きなデザートをご自



分で選んでもらいました。皆様それぞれのメニューから、嬉しそうにデザートを選ばれていました。ちょうど暑い時期だったので、冷たいデザートがより一層美味しく感じていただけたようです。

施設内にカフェがオープン！

8月29日に第1フロア・ユニット、9月7日に第2フロアでそれぞれ施設内カフェが開かれました。

メニューからお好きなデザートと飲み物を皆様に選んでいただきました。



「甘くておいしいね。」と喜びの声と笑顔がたくさんみられた行事となりました。

在宅老人デイサービスセンターだより



屋外で焼肉会を開催！

6月29日、デイサービスセンター前で炭を起こし、昼食に焼肉会を開催しました。

屋外で肉を焼き、焼きそばを炒めて調理し、厨房で握ってもらった塩むすびを一緒に付けて昼食としました。利用者さんはおかわりもたくさんしており、特に焼きそばが人気でした。

利用者さんのいつもとは違う表情や声が見られスタッフも楽しい時間を過ごしました。

当日は、ボランティアさん2名の協力もあり、大変助かりました。



4年ぶり！夏祭り大盛況

8月22日～24日の3日間、4年振りに夏まつりを開催しました。

屋台では、フランクフルト・フライドポテト・たこ焼き・チョコバナナ・かき氷とどれにしようか悩みながらつつい手が出ておなかがいっぱいになっていました。



縁日では、的あて・ヒモくじ・さかな釣りゲームで景品を獲得！

4年振りの夏まつりは大盛況の中、終えることができました。



敬老会で記念品を配布

9月11～15日の5日間、敬老会を開催しました。昼食は、お祝い膳で見た目も味もgood!「おいしい」「ありがたいね」と声が聞かれました。

ゲームでは、1テーブルを1チームとして競い、一致団結し負けられないという気合いを感じました。真剣な表情には、負けた時の悔しさ、勝った時の喜びが出ていて、いつもに増して活気のある姿が見えました。

また、デイサービスセンターから利用者さんに対し、マルチケースを記念品として贈呈しました。ぜひ、病院へ行くときなどに使ってくださいと思います。



これからも、皆さんと楽しい時間を過ごしていきたいと思っています。本当におめでとうございます。

寄付・寄贈ありがとうございます

～社協や心和園へ寄贈がありました。皆さまの善意ありがとうございます～

【寄付金】 ▼一般寄付 匿名/30,000円(特別養護老人ホーム事業に)

※寄付寄贈を受ける際に、「誰のために」「どのような事業に」など、希望する使い道を確認させていただきます。

第13回

あ っ け し の 輪

【Wa-akkeshi】

こんな時代だからこそ
人と人とのつながりを大切にしたい。

社協とのつながりに関係なく、町民の皆さんをリレー方式で紹介します。
今日この一歩が、未来の大きな一歩となりますように。

【あなたにとって社協とは】

小さなお子さんからご年配の方までさまざまなイベントを通じて繋がりを持てる場所だなと感じています。私も長女が年少の時から現在四女(小1)にわたってファミリーサポートで大変お世話になっています。

【これから頑張りたい事、やってみたいこと】

今までも社協さんではボランティア活動等に関わらせていただいていたのですが、子育てが落ち着きましたら娘たちと一緒にボランティア活動を本格的にやっていけたらと思っています。

【人生で一番感謝している人は】

自分勝手に生きている私といつも一緒にいてくれる家族、そして社協で頑張っている妹です。いつもありがとう。



井出真由美さん(43)

【10年後の自分へ】

子育てが少し楽になって悩んでいた事も、10年後には笑って振り返ったり今の自分よりも強くたくましい姿になっていてほしいな。

★次回は、小野寺 浩江 さん

いつもおしゃべりNightにご招待いただきありがとうございます。コミュニティカフェが復活しましたらぜひお手伝いさせてくださいね。

厚岸町社協広報『しゃっきー』

2023.10/No.192【編集】広報委員会(以下、委員)

米内山紘輝、奥山夕紀、松尾麻理子

車塚香保里、小笠原晶子、加藤嘉史、本庄祐長

社会福祉法人厚岸町社会福祉協議会

〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地

厚岸町社会福祉センター内

TEL 0153-52-7752 FAX 0153-52-6044